

# Next Step

## No. 8

こんにちは、県事研研究部です(\*^\_^\*)

今回も、「学校財務ウィークの実践事例レポート」をご紹介します！



福井県内からご提出いただいた実践事例のご紹介②

### 『児童の視点を取り入れた予算要求につなげるために ～みんなのアイディアで〈いごこちのよいがっこう〉にしよう!!～』

おおい町立大島小学校 仲瀬 恵さん

☆取り組みを簡単にご紹介☆

①職員会議で提案

→取り組みについて他の教職員の理解を得たり、アドバイスを受けたりする。

②全校児童に予算について講話

→朝礼の時間に、学校の備品がどのように購入されているかについて児童へ説明する。

③子どもアンケートの実施

→教職員からの希望だけでなく、子どもたちの希望も聞くためのアンケート箱を設置する。

④予算委員会や職員会議で検討

→要望に対して、次年度の予算要求に向けてどのように対応していくか検討する。

⑤上記取り組みの結果を児童へ報告

→要望とその対応について掲示物を作成して掲示したり、感想を聞いたりする。

大人だけでは  
気づかなかった  
新しい発見も!!

学校で生活する  
すべての人にとって  
いごこちのよい学校  
を目指して!!



**教職員だけでなく子どもたちも含めた学校で生活する全員で 〈いごこちのよいがっこう〉 づくりをしたい  
という思いが込められた素晴らしい取り組みです。全事研 HP で紹介されています。是非ご覧ください!!**

皆さんはこの実践事例を見て何を思いましたか？

私もやってみよう！私にもできるかも！と思った方、是非あなたの学校でもやってみてください。大勢の児童の前で話をしたり、アンケートをしたりするなんてできない！と思ったあなたも、まずはひとりの児童や教職員と会話するところから始めてみてはどうですか。いろいろな人と会話して、そこから何かヒントを得ることができるかもしれません。コミュニケーション！これならあなたにもできるはずです。目の前の仕事で忙しく、ついついずっと職員室にこもって仕事をしてしまいがちですが、たまには校内を歩きまわり、自分の目で見て、耳で聞いて確かめ、あなたも〈いごこちのよいがっこう〉づくりに向けた取り組みを始めてみませんか？(\*^\_^\*)